

珠算能力検定 1・2・3 級試験受験者への注意

制定	昭和 28 年 4 月 1 日
改定	昭和 33 年 3 月 1 日
	昭和 42 年 4 月 1 日
	昭和 54 年 4 月 1 日
	平成 3 年 4 月 1 日
	平成 13 年 4 月 1 日
	平成 14 年 4 月 1 日
	平成 16 年 4 月 1 日
	平成 25 年 4 月 1 日

1. 試験開始時刻を間違えないように注意してください。時間に遅れると原則受験できません。
2. 受験者は、試験開始時刻までに入場し、指定された席につく。
3. 受験するときに持参するもの。

- (1) 受験票 (2) 筆記用具 (3) そろばん
- (4) 氏名、生年月日、顔写真のいずれも確認できる身分証明書（運転免許証、旅券（パスポート）、社員証、学生証など）。ただし、小学生以下の方は必要なし。

4. 答案記入上の注意

- (1) 答は、定められた欄の中に、はっきりと書く。
- (2) 答の 1 の位又は円の位以上には、3 位ごとにコンマ「,」を付ける。
- (3) 無名数の答は、次の例のように書く。 (例) 0.25 1,427.39 2,905,406
- (4) 端数処理をした無名数の答は、次の例のように書く。

(例) 小数第 3 位未満の端数を四捨五入したとき。

そろばん面	答
0.4595 ……0.460	0.46
5.2004 ……5.200	5.2 (5.20 とは書かない。)

- (5) 端数処理をしなかった無名数の答は、次の例のように書く。

そろばん面	答
0.45 ……0.45	.45 (0.450 又は .450 とは書かない。)
5.2 ……5.2	(5.20 又は 5.200 とは書かない。)

- (6) 名数の答は、次の例のように書く。

(例)	¥9,528	¥9,528.	¥9,528	9,528
	(¥9,528.0	¥9,528¥	¥9,528円	9,528¥のような書き方はしない。)

[注] 答の頭には、円の記号(¥)を付けるのが原則であるが、付けなくてもよい。

- (7) 答を縦に書いたり、二段に書いたりしない。
- (8) 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直す。
- (9) 答を書き直す場合は、定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は()で囲むか、その欄又はその問題と矢印で結んで書く。
- (10) 答を二つ以上書いたり、同じ数字やコンマ、小数点でも二重に書いたりなぞらない。
- (11) コンマや小数点は、数字の間に書く。数字に触れたり、数字に重ならない。

5. その他の注意

- (1) 計算開始の合図があるまでは、文鎮・下敷きなどを用いて、計算の準備をしない。
- (2) 計算開始の合図があるまでは、問題用紙を開かない。
- (3) アラーム時計を使用するときは、音を出さない。
- (4) 受験票をなくしたり忘れたりした場合は、試験開始前に再交付を受けて受験する。
- (5) 携帯電話の電源は完全に切る。